

令和3年4月12日

未来への扉 19

校長 平野 雅仁

みなさんおはようございます。いよいよ1学期が本格的に始まりました。

しかし、未だに新型コロナウイルスの感染拡大は、収まらず、東京都においても4月12日から5月11日まで「まん延防止等重点措置」が適応されました。飲食店や施設等に限定されていますが、これからの教育活動においても再度、検討が必要になってきます。早くにワクチン接種など対策を講じてほしいと願っています。

今日は、みなさんも楽しみにしている「部活動オリエンテーション」が開かれます。ただし、部活動についても、活動の仕方や活動時間、また、対外試合等に制約が行われます。活動中も室内においては、常に換気を心がけ、マスクの着用や少人数で間隔をとった3密にならない活動を心がけましょう。

市中感染や変異株が広がっている現状を踏まえて、その他の教育活動についても変更が余儀なくされてきています。詳しくは、その都度説明していきます。

感染拡大を防ぐ方法としては、「行動を制限する」「マスクの着用・消毒を徹底する」「免疫力を上げる」ということが大切です。

さて、今日は、「温かい気持ち」「温かい雰囲気」はどうしたら生まれるのか、ということをお話しします。

それは、自分だけで生きているのではないということです。まわりにいるお友達や先生・主事さんいろいろな人に見守られて私たちは、「生きている」「生活している」ということです。みなさん一人一人が、その温かさを作り出しているということです。

先週は、学級、学年で、みなさんがよりよく生活するための約束や方法、役割を決めました。是非、自分の役割に責任をもってもらいたいと思います。少し周りを見渡して、困っている人がいたら、手を差し伸べて手助けをしてください。きっと温かい気持ちになると思います。みんなが幸せに暮らすためには、自分一人で生きているのではないことを意識してください。人に迷惑をかけるような勝手なふるまいは慎みましょう。お互いを認め合い、支えあう関係を作っていきましょう。

そして、何気ないあいさつや笑顔が人を幸せにしていることを忘れないように心がけていきましょう。

